11月定例会

令和5年第4回定例会が11月7日から14日の8日間開催され、報告1件、同意2件、議案11件を審議し、可決した。

暮らし応援施策

新型コロナウイルス感染症の影響により、物価高騰に対応するために国の交付金を活用した事業を実施

高齢者世帯や子どもがいる世帯に対し、商品券・広川産（お米・いちご）を配布します。

高齢者生活応援

商品券給付事業

予算額 1230万1千円

【目的】

物価高騰の負担感が大きい高齢者のみの世帯へ、商品券を配布することにより、負担軽減を図る。

【対象者】

令和5年11月1日現在、広川町に住民登録がある65歳以上の高齢者のみの世帯

【給付額】

広川町商工会発行商品券

高齢者単身世帯

3000円

高齢者のみ2人以上世帯

6000円

【担当課 福祉課】

育ち盛りの子どもたち

応援事業

予算額 847万8千円

【目的】

子育て世帯に「広川産お米」、町で育つ卒園生・卒業生に「広川産いちご」を配布し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援する。

燃油価格の高騰の影響を受ける農業者を支援するとともに、広川町産のお米やいちごを配布することで、故郷への愛着を育む。

【対象者内容等】

お米5kg 0歳から18歳

いちご2パック

卒園児、小中学校卒業生

【担当課 子ども課】

広川町出身学生応援事業

予算額 105万1千円

【目的】

物価高騰により、日常生活の維持に影響を受ける学生に支援を行うとともに、学生の郷土を愛する心を育むために広川産のお米を配布する。

【対象者】

①学生本人もしくはその保護者が広川町に住所を有する人

②国内にあつて、学校教育法に基づき設置された大学（短期大学も含む）、高等専門学校（4年以上に限る。）、大学院、専門学校に学生として在学している人

【給付内容】

お米5kgまたは引換券

【担当課 生涯学習課】